

銀漢亭日録



伊藤伊那男

9月16日(火)

▼午前中、執筆。井月本に関する文章は九割方書き終わる。店、橋本有史さんの句句会八人。宗一郎さん誕生日としてシャンパンで乾杯。パースデーケーキも。

17日(水)

▼店、長崎の坂口晴子同人、「春野」の岩本さんと。岩本さんより、「先生の行状を見るにつけ心配です。倒れたら弟子が困るのですよ。他結社の者ですが、くれぐれもご自愛を」と、居住まいを正して諭される。「三水会」八人。終わって八人程で餃子屋。

19日(金)

▼「春耕」の窪田明さん、句集出版の件で池内けい吾さんと来店。打ち合わせ。小生も出来る限り協力することを約束す。松川洋酔さん、第二句集『水多くば』出版なる。奥で酔馬、展枝、小花などと出版記念会の打ち合わせ。

20日(土)

▼昼過ぎ、成城の三家族くらいが来訪、庭で秋刀魚などを焼き始めたので私も参加し酒盛りとなる。酔って十九時くらいに寝てしまう。夜中に目が覚めて少し調べものなど。よその子供五人くらいが泊まり。

21日(日)

▼終日家。久々、家族揃って早めの夕食。秋刀魚の味噌漬け、からすみ、いかのわた焼きなど。

22日(月)

▼銀漢十一月号の選句ギリギリ、取りかかる。「演劇人句会」七人。他、閑散。

23日(火)

▼休日、家族は横浜「万葉の湯」へ。いわきの古市枯声さんより秋刀魚山ほど到来。

24日(水)

▼家の掃除につき、レジイ引退により、以前、高井戸に来てくれていた中根さんに今日からお願います。とりあえず、毎週水曜日。雨。店、常連がカウンターを囲む。十一月号選句稿、武田編集長に渡す。

25日(木)

▼「東京名物・神田古本まつり」の「本にまつわる俳句大会」大賞を杉阪大和さんが受賞。神田古書店連盟会長・佐古田さんより連絡あり。「石田波郷俳句大会」新人賞・奨励賞を、堀切克洋君受賞と、嬉しい知らせがバリから入る。「銀漢」誌が全国俳誌協会第五回編集賞受賞の知らせも入る。快挙。武田編集長万歳。「銀漢」三年間の歴史で受賞とは！ 何とも嬉しいできごと。「雛句会」九人。野村證券京都支店独身寮の隣の部屋にいた吉田裕先輩来店。「雛句会」の幹事・津田卓さんと同期生。

26日(金)

▼快晴。小学生三人各々遠足。杏さんのメール、「まだまだ、つわりひどく五キロくらい瘦せた。いずれ食べたいもの。松茸のスキヤキ、栗ごはん、お父さんの酒粕汁、昔よく連れて行ってもらったステーキ……」と。発行所「門」同人会、そのあと「金星句会」。店、「白熱句会」(水内慶太、藤田直子、檜山哲彦、小山徳夫、佐怒賀正美、井上弘美)。「京鹿子」六名(上野紫泉さん他)その内の宮下隆さんは駒ヶ根出身、高校先輩であつた！「金星句会」の中村紘子さん名古屋から来たのに急拠仕事が入り句会不参加。

27日(土)

▼「纏句会」。「ホトトギス」の今井肖子、阪西敦子さんゲスト。十六人。あと、あんかけ豆腐、題の鯖味噌

増煮、土瓶蒸し、握り。酒は「手取川」。十八時、四谷・絵本塾ホール。ジャパトラ公演へ。本庄康代さん主幹。新作「おくのほそ道」(中村孝哲翻案) 良し！

帰宅して、桃子、正明と小酌。木曾御嶽山噴火！

▼隣家の金木厚の大樹花盛り。窓を開けて楽しむ。「銀漢」十一月号の原稿書き終わる。井月本の執筆追いつき中。

▼井月本、文章の部は全部終了。あと句の解説二十句程追加することに。ヘアメイクの中川さん来宅。散髪してもらう。店、昨日も今日も超閑散。

▼「きさらぎ句会」、「宙句会」。皆川文弘さん会社仲間と。清人さん、日本酒の会あと、仲間と。

▼今日から天野さんに替わり今泉礼奈さんがアルバイトに入る。学生。波郷賞新人・奨励賞を堀切克洋君と共に受ける。「十六夜句会」七人。ほか何やかや賑やか。武田さん四国珍しい野菜を何種類も。

▼「大倉句会」あと十二人。久々、若菜潔君来店。野村證券、オリックス、パシフィックモーターと三社一緒。一時、店の手伝いをしてもらったこともあり。

▼成城学園初等学校・幼稚園運動会。宮澤が夜中から並び席確保。孫四人にて十九種目のうち十一種目に出場。最後六年生の旗体操には泣く。昼で終わり。戻って酒盛り。十六時くらいから五家族ほどが家へ集まりバーベキューパーティー。ああ……また。

▼終日家。雨。「春耕同人句会」を休み、井月本の追加の句解説、文章校正など。夕方、親戚一家来て家で

ご主人の誕生祝い。

6日(月)

▼昼、台風一過の秋晴れ。発行所「かさ、ぎ俳句勉強会」飯島晴子と。全体閑散。

7日(火)

▼発行所、鳥居真里子さんの超結社句会へ貸し出しにて十三時半に店。厨房のオイルトラップの掃除など。発行所から句会のあと六人店へ。全体閑散。

8日(水)

▼発行所「梶の葉句会」選句へ、店、超閑散。

9日(木)

▼原稿書きなどで忙殺。閑散なるも後半、高校先輩・井ノ口さん、みえ子さん、有二さんなど「新橋句会」の方々。その他で賑やかなこと。

11日(土)

▼十時、発行所、運営委員会。昼、「いもや」の海老天。あと必ず胸焼けするのだが。午後、「銀漢本部句会」五十一人。あと「随一望」にて親睦会。

12日(日)

▼井月本の校正作業。宮澤が池上本門寺お会式の撮影。家族も行くとして後を追う。宮澤は仁王門の上から撮影。二十年ぶりくらいのお会式か。大混雑にて帰宅して夕食。秋刀魚の味噌漬、牡蠣のくんせい、その他。

13日(月)

▼家族がみなとみらいの「万葉の湯」に行くのに同行。十時、入場。部屋を借りて十一時から酒盛りになつてしまう。途中、粕谷さん一家も合流。十八時、新宿クルーズクルーズにて松川洋酔第二句集『水多くば』出版記念会。台風襲来の中、超結社で百二十人程集まる。乾杯の辞を。余興凄じい！ 二次会カラオケ。三次会へ。ああ……また。